

ナルク 千曲川

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
上田・千曲活動拠点
事務局：上田市真田町本原 788-2 香山方
TEL 0268-72-2538 FAX 0268-72-2539
URL: http://www.geocities.jp/nalc_ueda/

の現実、少子高
齢化の時代をむ
かえ、日常生活

日本社会の今日
の現実、少子高
齢化の時代をむ
かえ、日常生活



第5回リーダー養成講座 受講者・決意新たに

第5回拠点リーダー 養成講座に参加して

事務局長 倉橋重松

きついきつ講座でし
た。

2月17日から19日の3
日間、全国から選ばれた
43名が兵庫県篠山市にあ
る「ユニトピアささやま」
に集まり、「第5回拠点
リーダー養成講座」が開
催されました。

高畑会長の「ナルク総
論」、藤岡副会長の「拠
点運営について」、寺井
常務理事の「運営のた
めの諸規定」、西村理事
の「コーディネート活
動と時間預託について」、
青木常務理事の「子育て
支援活動」、田邊副会長
の「ナルクの組織形態」
「政策提言活動の必要性」
「収益事業と非営利活動」
の講座を休み時間の少な
い中、夜の11時までの討
論など、とてもきついつい講
座でした。

このきついつい講座を受け
て、私自身が一皮
むけたような気が
しています。特に、
ナルクの理念を
しっかりと掴むこと
が、前進の糸口にな
ることがわかり
ました。

の中で、派遣切り、ワー
キングプアー、ホームレ
ス、孤独死、自殺、幼児
虐待など、様々な社会的
不安現象が起こっている
です。この様な憂いある社
会の現実を、地域の大勢
の方々との力で支え合う
「地域の絆」を作り、な
くしていこうという崇高
な考え方です。

これからのナルクの進む道

高畑会長が何故ナルク
を創ろうと考えたか、そ
れは「終局の生き方がそ
の人の真価を決める。現
役時代の3から5倍の緊
張感をもって、人間的に
向き合い、第二の人生を
世のため・人のためにつ
くす。その理念として、
自立、奉仕、助け合い、
生きがいと大事にして、
ボランティアをやらせて
頂き、健康と生きがいと
出会いを得ていく。」と
15年前に全国の労働組合
幹部に呼びかけ立ち上げ
てきました。

そして、地域でナルク
を立ち上げて、拡大し
ていく為に大事にしてい
かなければならないこと
は、最低二人以上の協力
者を得ることが必要。ま
た、「孤独死は絶対に出
さない」という活動が大
事。北海道の「中標津」
拠点では、各地域毎にブ
ロックをつくり、一人暮
らしの方を地図に示し、
会員が誰に相談できるか
一人ひとりの会員が解っ

ています。(ナルク会報
2009年10月10日号で
紹介)こうした努力の中
で町の人口の1パーセン
トの方がナルクの会員に
なっています。拠点の方
のお話を聞いたところ、
そのことが普通のように
実行されていることに感
心しました。これは我が
拠点の課題。本部の来
年度総会方針です。

また、少子高齢化とい
う日本の社会の現状を打
開いていくためには、地
域で子育て支援をしてい
くことも大切であること
も強調されました。

リーダーの条件

会を運営していくため

心したい 「コーディネート」の説明

内田雅久 上田市

昨年の8月上旬に、新
たに入会して頂いた会員
さんがありました。その時は充
分に会の理念と、活動内
容を説明させて頂いたつ
もりではあった。利用内
容としては、移送と外出
介助がメインになると想
定していたが、暫くたっ
ても一向に要請がなく、
気になっていった。年が明
けても音沙汰がなかった
為、副代表のアドバイス
もあり、思い切って訪問
した。内心お元氣かな？
と思いつつ。玄関先から
返事がありません。お元氣な
返事がありません。お元氣な

心。特にご依頼のない理
由を率直に尋ねてみる
と、利用料金の支払いが
振込になつていて、足の
無いご本人にとっては大
変なこと、二の足を踏
んでいたので、その都
事について、利用の都度
の精算も可能な事を説明
し納得して頂いた。反省
すべき点として、もう少
し早い段階で再度訪問す
べきであった。そして疑
問点を早目に聞き出し、
解決してあげるべきだっ
た。口頭による説明だけ
ではなく、平易な文章に
よる運営面での説明書の

反省、計画、実践、挨拶、
笑顔、素直な心もつこと
が大切だと、会員の地
域での活躍を期待してい
ました。

あとがき

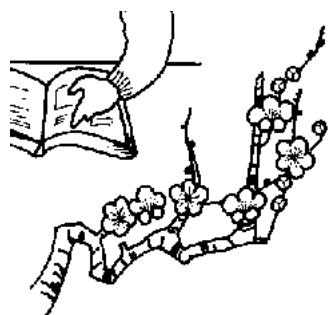
この他にも大切なこと
が沢山ありました。全
部を報告することは出来
ません。本部の3月会報
で来年度の総会方針が出
ます。これを深く読み、
ナルク活動に役立てて頂
くようお願いいたしま
す。また、参加者が先頭
に立つてナルクを発展さ
せようと誓い合いまし
た。



提供が必要だった。猛省
しました。必ず次回につ
なげると誓いました。

手作り味噌について

昨年、苦勞して収穫し
た大豆を使った味噌
を、2月中旬に大豆六斗
分(約三百キログラム)
仕込みました。大豆は滝
沢副代表(坂城)の畑、
お米は中村代表(真田)
の田んぼで、できたもの
を使用。安心してご賞味
頂けます。昨年の経費を
検討しましたところ、若
干赤字でした。今年の販
売分は一キログラムあた



当面の行事案内

運営委員会の予定

平成22年4月7日(水)
午後12時より、今後の開
催予定日は、5月13日
(木)。昼食は用意いた
します。昼食代三百円。

サロン活動

サロン千曲川
平成22年4月9日(金)、
5月14日(金)の予定。
いずれも午後6時より。
会場 すし田
会費 千五百円

サロン上田
平成22年4月15日(木)、
5月20日(木)いずれも
11時30分より
会場「クレス・エム」
会費 千円

